

高知県

農業技術センターニュース

第90号 2018年1月

目 次			
シソサビダニおよびシソモザイク病の防除対策	… 1	葉菜類の鮮度保持技術	… 4
オオバ(春植え)の養分吸収特性	… 2	早期栽培用酒造好適米有望系統 「高育酒80号」の栽培特性	… 5
キルパー由来の活性成分MITCの ネダニ類に対する殺虫活性	… 3	施設栽培花き類における炭酸ガス施用効果	… 6

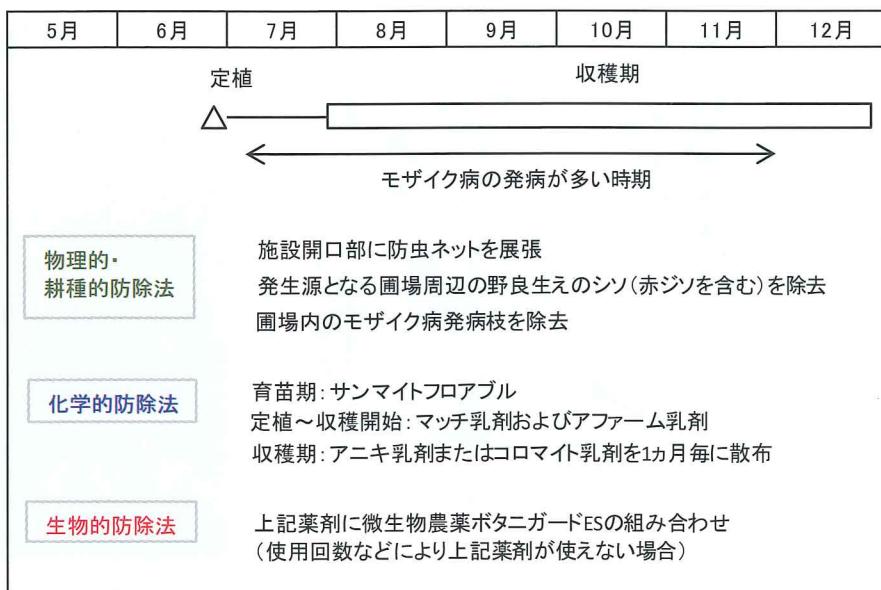
シソサビダニおよびシソモザイク病の防除対策



写真1 シソモザイク病の症状



写真2 オオバの葉に寄生したシソサビダニ



シソモザイク病(写真1)はシソサビダニ(写真2)が媒介するシソモザイクウイルスによる病害で、県内の施設オオバにおいて発生が問題となっています。しかし、媒介虫、病原ウイルスいずれも新種で発生生態や防除方法について不明な点が多くたため、平成27年から農水省の農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「シソサビダニが引き起こすオオバのモザイク病およびさび症の防除体系確立」の課題に取り組んできました。その中で、本病の圃場での発生は7～11月に多くなること、圃場周辺にある野

良生えのシソが発生源と考えられること、防虫ネットの展張は媒介虫であるシソサビダニの侵入抑制に有効であること、発生源の除去は圃場内での発生抑制に有効であることを明らかにしました。また、シソサビダニに対する有効薬剤を探索し、登録促進を進めてきました。

本年度は防除対策確立に向け、これらの成果を基にした防除体系案を作成し(図)、防除実証試験に取組んでいます。

(昆虫担当 下八川裕司 088-863-4915)